

# 第2回みよし未来環境会議

## 基礎講座 かわらばん

2023年9月2日（土）13:30～16:30

会場 三次市役所6階601会議室

参加者 神田日向、谷藤拓真、白根瑞紀、岩倉伊吹、  
兒櫻浩介、下岡快成、井上海太

欠席者 梅木亮汰

講師 豊田知世（島根県立大学地域政策学部准教授）  
藤山浩（（一社）持続可能な地域社会総合研究所）

第2回みよし未来環境会議では、サステナアンバサダーがこれから三次の持続可能な未来について考えるための基礎知識や先行事例について学びました。講師は島根県立大学地域政策学部准教授の豊田知世氏と、持続可能な地域社会総合研究所所長の藤山氏でした。まず藤山氏から持続可能な社会をつくるために「小規模・分散・ローカル」が基本の循環型社会を作ることが必要だと学びました。次に豊田氏から環境問題を例に課題どうしが繋がっていることを学び、分野を横断して複数の課題に連携して取り組む必要があると学びました。講義を受けるなかでサステナアンバサダーはめざす未来像や、身近な問題とその解決方法などについて考えました。



事務局  
藤山氏より

お互いの生命を守り育てることが、未来につながる環境づくりの基本です。共生の時代へと幕を開きましょう。



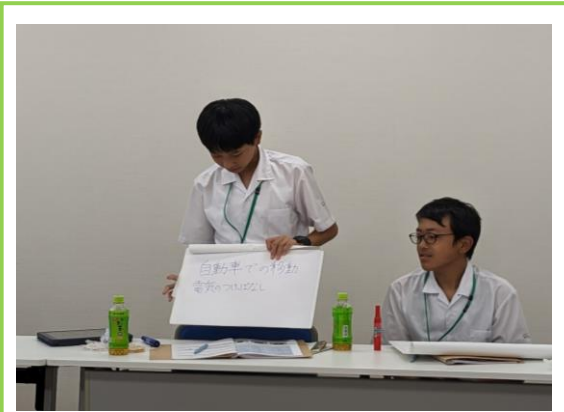
### 「夢なき者に成功なし」

目標がなければこれから何をすればよいかわからない。これから三次のことを知り、理想の未来を実現させるための計画をまとめていく。



### 持続可能な社会は地元から

「循環自治区」を中心に自治、参加、共生を大切にしまちづくりをして持続可能な社会へ。なんと三次には19もの循環自治区がある！



### 身近なことから始めよう

複雑に絡み合った問題を全世界が協同で解決するための目標がSDGs。普段の生活の中でもSDGs達成のためにできることがたくさんあった。

13:30

14:00

15:30

16:30

繫水愛土 光意思水 光水水菌 織絆食金

### 何を大切にしたい？

サステナアンバサダーたちが「命を守るために一番大切だと思うもの」を漢字一字で表した。持続可能な未来のために必要なものが見えてきた。



### 変えられる未来

今ならまだ、生活スタイルを変えれば地球の平均気温を1.5°C以内の上昇にとどめられる。私たちのこれからの選択で未来が変わる！



### 最後は全員で集合写真

各自の「命を守るために一番必要なもの(漢字一字)」を持って集合写真を撮った。

## サステナアンバサダーから一言

※欠席者は後日フォローを行い、当該回の内容についてコメントをいただくようにしています。



神田さん

三次だけでもたくさんの方が問題の解決・対策に向けて取り組んでいることがすごいと思いました。



谷藤さん

「焚火は小さな方が良い」という話から、小さな集落へのマイナスイメージがなくなってきました。



白根さん

私たちの生活とSDGsのつながりを知り、様々な人、自然との交流を増やしていきたいと思っています。



梅木さん

専門的な考えや知識を得ることができ、「分断」せず「協働」の意識を持って動くことの大切さを知りました。



岩倉さん

みんなが苦しまず幸せに暮らせる取り組みをしていきたいです。



兒櫻さん

意外と三次にも優れているところがあって、そこを台として三次を発展させたいです。



下岡さん

他の生物がいなくて人間は生きていけないということがわかりました。環境は他人事ではない。中で育てる暮らし。



井上さん

最初は小さなところから変えていき、循環を実現していきたいと思うことができました。

※「サステナアンバサダー」とは、みよし未来環境会議に参加している市内の中学校、高校に通う生徒8名のことです。